

令和3年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	19	学 校 名	静岡県立天竜特別支援学校	校 長 名	高橋 定裕
------	----	-------	--------------	-------	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア 安全 安心	災害・感染症予防等へ適切で迅速に対応する。	・学校再開計画について計画的に研修を行い、研修後自分の役割を理解した教職員 80%	A	A	(特になし)
		・学校安全計画、学校保健計画に基づいた防災教育・保健教育を実施できた教員 90%	A	A	・防災、安全、保健の教育ができたことが良かった。
	人権意識を高くもち、道徳教育を推進する。	・人権月間や職員人権研修を通して、人権について理解を深めた教員 90% ・学校生活全般において人権教育の実践を進めることができた教員 90%	A	A	(特になし)
		・よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳教育全体計画に基づいて道徳教育や特別の教科道徳の指導を行うことができた教員 80%	A	A	(特になし)
イ 指導 充実	病弱教育の専門性の向上を図る。 （個別の教育支援計画、個別の指導計画に基づいた授業実践）	・生徒の自己理解を促し、各自の目標に向かった学びができる教育課程編成に関わった教員 100%	A	A	(特になし)
		・キャリアステージ対応研修の項目を 80%以上チェックできた教職員 100%	C	C	・自己評価Cの意図がはっきりとはつかめないが、自己評価がCならば評価どおりと受け止める。
		・整理図をもとに適切な目標と指導内容を設定し、児童生徒の成長を促す実践ができた教員 100%	B	B	(特になし)
		・児童生徒の目標達成のために、ICT 機器や教材教具等を効果的に活用した環境を設定し、指導や支援を実践した教員 100% ・行動観察やアセスメント等	A	A	・保護者アンケートの結果より、児童生徒に合った授業ができていると思う。

様式第 5 号

		をもとに、児童生徒に合った学び方を提案し、学びに生かすことができた教員 80%			
		・一人一授業研修の実施、事後研修への参加を通して、「主体的・対話的で深い学び」の視点で授業改善(機器の活用を含む)を行った教員 90%	A	A	(特になし)
ウ 地域連携	個別の教育支援計画に基づいた連携体制を確立する。	・個別の教育支援計画を基に、本校在籍前後の学校や他機関、保護者に支援や助言をし、連携できた教員 80%	A	A	・保護者に支援や助言ができたことが良い。
	みゅうの丘との連携と協同学習を充実させる。	・必要なときに作業部会を行い、みゅうの丘の連携が深まったと感じた担当者 100%	B	A	(特になし)
		・みゅうの丘を活用した教育活動を行った教員 100%	B	B	(特になし)
	エ 業務改善	一人一人が責任をもち効率的な業務の遂行ができる。	・自分が設定した時刻に 80%以上退勤した教職員 100%	B	B
・行事等の活動や手続き等の見直しを考えたり、提案したりした教職員 60%			A	A	・コロナ禍での行事等の見直しが大変でした。 ・目標が 60%では低いのではないかと。
・各種マニュアルを参考にすることで、業務がスムーズになったと感じる教職員 80%			A	A	(特になし)